

一 帝国の同朋よ！

プルトニウム

プルトニウム二九〇キロは 殺りくの火薬で
はないのか

殺りくの 火薬は
兵士に 市民と 子どもたちと 病弱な老人
に

まっさきに 撒かれるのではないのか
東京湾に入ってくる 戦争の兵器と
無感覚な 東京都民の 飽食と 享楽と 性
の 宴は

プルトニウムとともに 爆発する 殺りくの
火薬では ないのか

遠からず
東京の空には 殺りくの灰が 覆うこととなり
地上には 亡骸が 山となすであろうし
海上には 無人船が 浮かんでいるであろう
し

きみの 友人たちは 戦場へと 駆り立て

られるだろうし

きみの 隣人たちは 戦争のため 弾薬を運
ぶことになろう

プルトニウム二九〇キロは 殺りくの火薬で
はないのか

きみたちの 平和憲法と
きみたちの 平和擁護は
宣戦を 布告する 文書となろう
その日に

きみたちの 悲しみは 銃剣の前で 跪く降伏
となるであろうし
きみたちの 呻吟は 核兵器の前で 妥協す
る 逃亡となるであろうし
きみたちの 慟哭は 血の海のただ中で 踊
る 喜びとなるであろうし

プルトニウム二九〇キロは 殺りくの火薬で
はないのか

東京の地下は 戦火に燃え 灰と化するであ
ろう
東京のビルは 戦火に燃え 灰とかするであ
ろう

帝国の病い

戦後